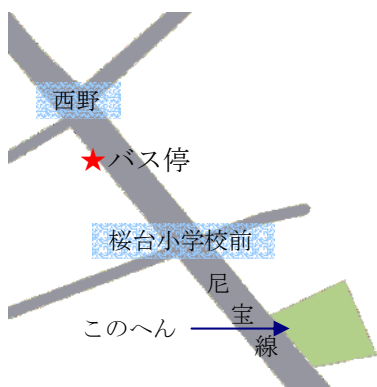


目次

白ポストとは	4
特集 伊丹市	5
伊丹市の白ポストを見まくる	6
伊丹市の白ポストにどんな法的根拠があるのか	17
宝塚にアレはある	21
特集 静岡県	28
富士宮市が諦めない白ポスト	29
富士市にはホワイトポストがある	31
静岡市は最後に残している	34
藤枝市に白ポストが隠れる	36
磐田市はまだ終わらない	39
静岡県の白ポスト	41
守山市は対称的に置く	42
香川県白ポスト序説	43
ウェブに見る白ポスト	47
第六回 同人用語の基礎知識	
都道府県別白ポスト事情	48
第七回 茨城県 / 第八回 栃木県	
これで逃げ	50
第七回 秋の関西ワンデイパス / 第八回 瀬戸内海の航路	
シリーズやっぱりなかった	53
第六回 静岡県の一部 / 第七回 阪堺電軌阪堺線	
青森県の有害図書規制	55
白ポスト研究1～6号の補足	60



バスを4つめの西野で降りると、先の方に西野交差点が見える。振り返って引き返した方向に歩けば、桜台小学校前交差点【**下左端の画像**】に至る。この少し先の左側に、公園らしきものが見える。これが、中野西公園である。道路をどこで渡るかは、信号の具合に委ねて決めればよいだろう。広く流量の多い道路だけに、信号の待ち時間も長い。この公園の尼宝線沿いの入口【**下中2点の画像**】に、白ポスト

がある。書かれた文字を隠さんばかりの金網【**下右端の画像**】が、お役所らしい仕事ぶりを見せ付けてくれるだろう。



に 共同利用施設北センター前

西野⇒(天王寺川中学校前⇒)北センター前



西野バス停に戻り、1・3・4・7系統のいずれかに乗る。ここで7系統以外に乗れたなら、乗り換えはない。7系統の場合は、天王寺川中学校前で降りて、ここを通る7系統以外全部のどれかに乗り換えねばならない。合わせれば毎時4本前後の便がある。北センター前のバス停で降りると、少し戻った方向の道路の向こうにそれっぽい建物【**上左の画像**】がある。その玄関先【**上中の画像**】に、白ポスト【**上右の画像**】がある。

伊丹市は、市の施設の一部にも、このようにして白ポストを置いている。もっとも、そうでない施設との違いは、はっきりしない。

香川県白ポスト序説

香川県は、離島の直島町以外すべてについて、何らかの白ポストに関する情報があるという稀有な県である。そんな香川県は、どうなっているのか。



多分に漏れず、香川県の白ポストも駅に置かれがちである。公的情報または報告者による確認(●印)に目撃情報(■印)を加えたのが上図⁵²である。これは情報が流布していない場所を含まない。それでも、この程度、各地への遍在を確認できる。



⁵² 国土地理院地図(<https://maps.gsi.go.jp/#11/34.197605/133.998871/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j010u0t0z0r0f0>) の一部を翻案した。

シリーズやっぱりなかった

第七回 阪堺電軌阪堺線

阪堺線は、大阪市内の日本橋近辺から堺市の中心部を抜けて南の郊外へ向かう路面電車である。運転系統的には上町線との一体化が進んでいるが、路線としてはそういうことになったままである。そんな路線の駅を調査した。

阪堺線各駅には、ごみを捨てるための箱各種がそもそも置かれていないという傾向があった。



東玉出駅【左の画像】等は、片側の乗場が線で囲まれただけで、道路との境目が無い。こういう駅に何も置かれていないことに、意外性はないと言えるのかも知れない。

東粉浜駅【右の画像】のような、路面に島があるだけの構造でも、同様のことが言える。狭い乗場に余計なものを置く余裕がないとしても、何の不自然さもない。



小さいながらも独立した設備がある箇所、例えば石津駅【左の画像】にも、利用者に関係がある置物は椅子くらいしかないのが通例である。

安立町駅等にある空き缶専用のごみ箱【右の画像】ですら、自販機もない駅が珍しくないこの路線では、稀有である。正確な記録を残すことができなかつたが、概ねなかったという証言だけは残しておくことができる。



今日、大阪府全域に白ポストが存在することを伺わせる情報が存在せず、発見も例外的な一件にとどまっている。そのうちとりわけ阪堺線については、ほぼ全駅の状態から白ポストの配置がないばかりか、ゴミ捨て場各種すらあまり見られない状況が確認された。

